

「建交労とうきょう」はいつもでもみなさまからの記事や写真を待っています。

（メール） tohontakenkou@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkou.com/

建交労

建交労 う・とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交運一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820) 8644(代)
fax 03 (3820) 8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(60円)



清掃ではたらく労働者の待遇改善で環境美化を！



関東支部・事業団高齢者部会・鉄道東京の仲間が訴えました

も300万円に満たない人もおり、人手不足が深刻になっています。このままではその日の分のゴミ収集も出来ない事も生じる事が心配されます。若い人が安心して仕事や生活ができる環境を作る事、正社員用労働者を増やす事、下請運営活動を図る日として制定された境デーは、1972年6月5日にスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念し、日本とセネガルとの共同提案により環境保全に関する啓蒙活動を図る日として制定された

国連による国際的な記念日です。今年は、国連のアントニオ・グレーデス事務総長が「プラスチック汚染をやめることを、世界にお願いします。」とのメッセージを発表しています。

6月5日（水）世界環境デーに合わせて、建交労東京都本部は清掃に関わる組織（鉄道東京、関東支部、事業団高齢者部会）で宣伝行動を開催し、赤羽駅西口前に3名の仲間が集いました。世界環境デーは、1972年6月5日にスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念し、日本とセネガルとの共同提案により環境保全に関する啓蒙活動を図る日として制定された

■関東支部 浅井健一委員長
私たち23区の下請でゴミ収集・運搬の仕事をしています。2000年4月1日に施行された「地方分権一括法」や都区制度改

革によって、ゴミの収集・運搬の中間処理などが東京都清掃局から、23区に移管されました。清掃合理化により車両が減らされ積載量が増えて車両火災も増加しています。作業を下請けに丸投げされ事故も増え死亡事故までも発生しています。区によって作業の6～7割が民間作業員に丸投げされ、仕事量・労働時間が増える中で、正規社員は減り、夏場の暑い時など休憩時間も少なく、低賃金で、年収

も増え死亡事故までも発生しています。区によって作業の6～7割が民間作業員に丸投げされ、仕事量・労働時間が増える中で、正規社員は減り、夏場の暑い時など休憩時間も少なく、低賃金で、年収

も増え死亡事故までも発生しています。区によって作業の6～7割が民間作業員に丸投げされ、仕事量・労働時間が増える中で、正規社員は減り、夏場の暑い時など休憩時間も少なく、低賃金で、年収

私達は、東京都内の公園や建物などの清掃の仕事をしている高齢者の団体です。各自治体が、民間業者を対象にした入札で仕事が決まり込んだ業者が落ちするという実態が少なくありません。結果、労働者は最低賃金で就労、仕事の質の低下に繋がります。私達は、最低限価格制度を適切に導入すること、また、當利目的ではない私達のような団体に対しても、随意契約で仕事を出すよう要求しています。公園のゴミ拾い、掃き仕事、ゴミ分別、処分等は野外作業です。暑い時、寒い時、雨の時、風が強い時など、自然環境の中でも隨意な仕事です。中程度の体力的にハンドのある人にとっても、年

も増え死亡事故までも発生しています。区によって作業の6～7割が民間作業員に丸投げされ、仕事量・労働時間が増える中で、正規社員は減り、夏場の暑い時など休憩時間も少なく、低賃金で、年収

も増え死亡事故までも発生しています。区によって作業の6～7割が民間作業員に丸投げされ、仕事量・労働時間が増える中で、正規社員は減り、夏場の暑い時など休憩時間も少なく、低賃金で、年収

6月5日 世界環境デー 宣伝行動 開催！！



会社は京王新労組への差別をやめろ！

【バス関連支部京王新労組】
執行委員長 佐々木 仁

5月30日全労連争議支援総行動 バス関連支部（京王新労組）

支援共闘会議は5月30日に取り組まれた全労連・東京地評主催の本社前での宣伝行動にエントリーし、京王電鉄本社前での宣伝行動に取り組みました。

京王電鉄の子会社京王バスでは、60歳で定年を迎えたバス運転手の多くは、再びバス運転手として再雇用されています。しかし、建交労の組合員は運転手として再雇用されず、時給千円、週3日勤務の車両清掃を強いられています。東京地裁はこれに違法性はないと、会社側に立つた不当判決を下しました。控訴

高裁824号法廷で3回目の期日をむかえています。みなさん、傍聴支援を願います。

そんな中で京王電鉄に解決を迫る宣伝行動の取り組みです。都本部からも多くの中間が駆けつけさせていただきました。早一番での取組、また京王線聖蹟桜ヶ丘駅という多摩での取り組みにも拘わらず多くの支援者で成功しました。主催者を代表して全労連の井澤智東京地評事務局次長の挨拶から始まり、支援共闘に賛同する伊藤支援共闘議長（元地評議長）の挨拶、地元、三多摩乗組議団から大蔵事務局次長から連絡あいさつを頂き、京王電鉄を包囲することができます。そこで立つた不当判決を下しました。控訴

建交労首都圏運輸基本集団交渉団19春開前半総括

建交労の首都圏のトラブル職場11社で構成する「建交労首都圏運輸基本集団交渉団」は、19春闘の妥結を迎えました。3社が前年実績突破、6社が前年同額・同率回答を得ました。また、18歳最賃について全社合意を獲得し177000円にアップ、その他、定年制度、退職金制度、業務上災害特別上積補償など制度要求の前進を得たことは大きな成果となっています。一方、賃金制度の前進に伴う経営状況によって要請の前進にバラつきが観られる事は、継続的課題となりました。4月1日（日）15日（月）に群馬県伊香保で開催された総括会議での総括概要です。「政府主導で効率化、規制緩和などを実現するための官製色が薄れた今年の春闘だったが、トラック産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況になりましたが、JR武藏小金井駅宣伝行動の実績が反映され、原則的でわかりやすい内容だった」「実践的な内容で、改めて会計実務の整理が出来た」「不正の無い体制をどう構築するかが課題と感じた」「組合費の集金に労力が発生するため事実上会計責任者と分会長を兼任せざるを得ない

が得られたとは言えないが、実力行使を背景に一定の前進回答が出来たことは建交労の春闘第19春闘の妥結を示すものと見える。しかし、本来の目的である産業全体の賃金・労働条件の底上げには、現在の111職場では到底難しく、この集団交渉団の拡大が急務。また、すべての職場が要求に団結できる統一要求の確立や交渉戦術の意思統一も必要不可欠。あらためての職場が要求に団結できる労働組合の役割である業界改善運動と経営に対するチャレンジ機能の強化を行っていきたい。

また、全国トラック部会などが主催する各行動に各支部・分会から積極的に参加し、実態を訴え続けなければならない。引き続き開催して行きましょう。

建交労東京学校 第5期 分会財政運用 会計監査の学習

【都本部 書記局】

建交労東京学校第5期分会財政運用会計監査の学習が開催されました。都本部とバス関連支部は中央労働委員会・東京高裁に対して也要請行動を取り組んでいます。

6月27日9時より京王プラザホテル人王子で開催される京王電鉄株主総会に合わせて宣伝行動に取り組みますので争議解決のためご協力お願いします。

講師の石塚副委員長／財政部長

実態がある。これを機会にもう一度システムを検証したい。

【都本部 書記局】

6月1日（土）、5期目となる建交労東京学校を東京地評地下会議室で開催しました。「分会財政運用・会計監査の学習会」と題して、都本部財政部長・副委員長の石塚さんに約1時間講義を頂き、10名が参加しました。組合財政は、組合員全員の財産である事に立脚し、一部の幹部請負にならないようにする工夫することや、入金・出金の処理方法、会計監査の役割等、原則的なルールを確認する良い機会となりました。

参加した組合員からは「現場の実態が反映され、原則的でわかりやすい内容だった」「実践的な内容で、改めて会計実務の整理が出来た」「不正の無い体制をどう構築するかが課題と感じた」「組合費の集金に労力が発生するため事実上会計責任者と分会長を兼任せざるを得ない

組合掲示板

- 7月30日(火)8時～反核トラックキャラバン出発式/都庁前
- 8月1日(木)14時～バス関連支部（京王新労組）東京高裁裁判824号法廷
- 8月2日(金)9時半集合～東京労働局交渉/九段下
- 8月7日(水)～9日(金)原水爆禁止世界大会/in長崎
- 8月24日(土)17時～京王支援共闘会議J R武藏小金井駅宣伝行動
- 8月31日(土)～2日(月)～建交労中央定期大会/群馬県磯部温泉
- 9月8日(日)～建交労東京都本部第22回定期大会/トラック健保会館(市ヶ谷駅)

